

雪若丸だより

～穂肥編～



適期・適量の穂肥で高品質米の生産を目指しましょう。

いよいよ穂肥の時期になりました。今年は茎数が多い傾向です。きっちり中干しで生育量を調整し、適期適量の穂肥を行いましょ。

1. 生育調査結果（6月30日調査）

6月30日現在の調査圃の「雪若丸」の生育は、茎数は平年より多く、葉数・葉色は平年並みです。

雪若丸の生育状況（村山市白鳥）

	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉数 (枚)	葉色(SPAD)
本年	39.8	727	9.3	42.9
指標	41	590	9.3	43
指標比差	97	123	0	-0.1

2. 穂肥診断と施肥量

- ◇ 出穂30日前（葉数は9.5前後）の生育が、**茎数 750 本/m²以下、葉色（SPAD値）44 以下**の場合、**「出穂 25 日前（8月5日出穂の場合7月11日頃）、窒素成分で 1.5kg/10a」**が追肥の標準施用量です。
- ◇ 穂肥の遅れ、過剰施肥は食味、品質の低下につながります。適期、適量の穂肥を行いましょ。
- ◇ 幼穂形成期まで葉色（SPAD値）を40未満に低下させないように管理しましょ。
- ◇ 生育量が過剰または不足の場合は以下の表に沿って追肥対応を行いましょ。

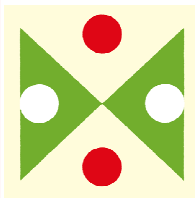
	葉色（SPAD値）	茎数	追肥対応
適正	40～44	560～750 本/m ²	適期適量追肥
生育過剰	44 以上	750 本/m ² 以上	追肥量を減じる
生育不足	40 未満	560 本/m ² 未満	早めの追肥

※葉色が濃い圃場では**「出穂 25 日前、窒素成分で 1.0kg/10a 程度」**を目安に追肥を行いましょ。

6月につなぎ肥を行った圃場では、穂肥は減肥しましょ。

農作業事故と熱中症に注意！！

農作業中は、こまめに水分と休憩をとりましょ。体調が悪いときは、無理せず休養を！！



つや姫 だより ~穂肥編~

穂肥に向けて、中干しで適正な生育と葉色に！！

1. つや姫の生育状況

管内のつや姫の生育は以下の通りです。葉数は指標よりもやや遅れていますが、概ね平年並みです。出穂期は平年並みと予想されます。

令和元年度 つや姫マイスター生育調査データ(6月30日)

調査地点	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
村山市河島	42.8	605	8.9	42.8
東根市蟹沢	39.2	518	9.3	41.7
尾花沢市正厳	40.0	548	8.7	42.4
尾花沢市尾花沢	41.3	650	8.9	39.4
平均値	40.8	580	9.0	41.6
指標対比・差	85%	116%	-0.3	+1.6
参) 指標値	48	500	9.3	40

生育状況～指標に対し～

- ◎草丈：短い
 - ◎茎数：多い（目標茎数確保）
 - ◎葉色：やや濃い
 - ◎生育進捗は指標より2日程度遅い
- ⇒出穂は8月12～14日頃

2. 中干しの程度

作溝、中干しは小ヒビの入る程度にきっちりと仕上げ、葉色の低下を図りましょう。葉色の濃い圃場や例年タンパクが高めの圃場は強めに、生育量が小さい圃場は弱めの中干しを行い、7月10日頃の生育診断時に、適正な穂肥ができるイネ姿（茎数550本/m²以下、葉色39以下）を目指しましょう。

3. 穂肥診断（7月10日頃）

7月10日の生育診断で下記の図のどのタイプにあるかを判断して、遅れずに穂肥を実施しましょう。全量基肥、いわゆる「基肥一発」の肥料を使用している場合、穂肥は不要です。

